

# 平成 30 年度 公益社団法人曾於医師会 事業計画書

## はじめに

平成 30 年度は、第 7 次保健医療計画の開始の年であり、医療介護報酬同時改定の年でもあります。

時代の節目となるこの年は、一方で医療人は医療介護の質をどう高めていかなければならないかを問われている時代となりました。国民の医療に対する期待は限りなく大きなものがありますが、我々一人一人がそれを真摯に受け止めて対応しなければなりません。

本年度予算は、医師会立病院における電子カルテの導入、有明病院におけるデータ提出の整備などを行うこととなっています。一方、災害医療に対して適切に対応すべく、職員各位が事業継続計画の策定に協力し、早期にこれを準備し、どのような事態に陥ろうとも最小の被害にとどめ、かつ医療介護の場を確保するという気構えを作り上げる年でもあります。

地域医療構想は、将来この地域にふさわしい医療体系を考えることであり、上から示される計画ではなく、自らがお互いに協議してつくりあげるもので、そのためにも今自分の置かれている状況をきちんと認識することが一番重要なことであると考えます。医師会員および各事業所職員の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

## 1. 公益目的事業

### 地域医療の質の向上を図り、住民が安心して暮らせる地域社会の実現に寄与する事業

#### (1) 医療従事者の資質の向上及び人材育成・住民の健康意識の向上に関する事業

##### 1) 医療従事者の資質の向上及び人材育成(学術講演会・研修会の開催及び奨学金貸与)

###### 【具体的な事業内容】

- ・ 薬剤師奨学生及び看護師奨学生募集
- ・ 地域の医療従事者への年 12 回以上の研修開催

##### 2) 住民の健康意識の向上に関する事業(住民向け医療講演会・体験活動の開催)

###### 【具体的な事業内容】

- ・ 住民向け講演会の開催

#### (2) 高齢化の進んだ医療過疎地域において、医療介護の一体的な提供により住民の健康の保持増進に寄与する事業

##### 1) 地域医療支援病院の機能を中核とした共同利用施設による医療・介護が一体となった総合的なサービスの提供

イ 地域医療機関から紹介された患者に対する医療提供、高度医療機器等の共同利用によるかかりつけ医の支援

###### 【具体的な事業内容】

- ・ 共同指導の実施と充実並びに共同利用機器の整備とその充実を図る

- ・ 地域連携室の業務充実により、連携強化を図る
- ロ 医療介護の連携による在宅復帰及び在宅療養の支援

## 2) 救急医療の提供

イ 休日・夜間における初期救急医療の提供

【具体的な事業内容】

- ・ 在宅当番医制度及び夜間急病センター、救急情報センター運営の堅持

ロ 重症患者に対する第二次救急医療の提供

【具体的な事業内容】

- ・ 地域医療支援病院である曾於医師会立病院の機能充実を図るとともに、有明病院においては、会員の施設の後方支援機関として救急搬送の患者の積極的な受け入れを行い、医師会立病院との救急医療の分化を行う

## 3) 災害医療の提供

【具体的な事業内容】

- ・ 災害拠点病院(地域災害医療センター)の機能充実
- ・ DMAT 隊員の整備
- ・ BCP 策定
- ・ 災害訓練の実施

## 4) へき地医療の提供

【具体的な事業内容】

- ・ 曾於市立恒吉診療所の指定管理者としてへき地診療所での医療提供を堅持する

## 2. 収益事業

**医師会立病院・有明病院・ありあけ苑における家賃収入、手数料等の収入**

【具体的な事業内容】

- ・ 医師会立病院・有明病院・ありあけ苑における家賃収入、手数料収入等

## 3. その他の事業(相互扶助等事業)

**患者・利用者が選択する療養等に関する事業及び会員相互扶助事業等**

【具体的な事業内容】

- ・ 医師会立病院における評価療養及び選定療養に基づく特別の療養環境の提供等
- ・ ありあけ苑における利用者等が選定する特別な居室等の提供に係る基準等に基づく利用者等が選定する特別な居室等の提供
- ・ 会員医療機関に対する診療録等の販売